

## 「受賞者の声」

テーマ『共同研究「ICTを用いた大規模災害時避難所支援システムの  
プロトタイプ開発」の取組みを通じた職業訓練教育の実践報告』

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

北陸職業能力開発大学校附属

石川職業能力開発短期大学校 安部 恵一

共著者 浜松職業能力開発短期大学校 橋本 隆志

浜松職業能力開発短期大学校 西出 和広

株式会社ユー・エス・ピー 天城 康晴

アツミ特機株式会社 山口 高男

この度は、職業能力開発論文コンクールにおいて、「高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長賞」という大変名誉ある賞を賜り誠に有難うございます。

共著者一同大変に喜んでおります。また本論文を執筆するにあたり多大なご支援を頂いた関係各位に深く感謝申し上げます。

本論文は、地元企業との共同研究テーマ「ICTを用いた大規模災害時避難所支援システムのプロトタイプ開発」を浜松職業能力開発短期大学校の教員だけでなく、専門課程電子情報技術科2年の学生にも実習科目「総合製作実習」の開発・製作課題テーマとして取組ませることで、学生にとっては技術・技能といった専門分野だけでなく、実際の業務を遂行するのに必要となるコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、協調性等といったヒューマンスキル向上に繋がる実践的技術教育を実施したことをまとめた論文です。

また本研究では、東日本大震災等の大規模災害において発生した避難所における人的管理・資材管理の難しさや問題点を教訓とし、インフラ断絶時でも強く、ICTを用いて、被災者の情報を収集し救援ニーズを含む名簿等を迅速に作成・発信できるシステムの開発を目指しています。本研究が目指す避難所支援システムは大規模システムであるため、約5年の開発計画で進めており、現在3年目で実用的なプロトタイプ開発が完成し評価を行える段階となっています。

今後も本研究の最終ゴールである「大規模災害時復興支援システム」をいち早く完成できるよう民間企業及び団体、自治体、地元大学などを巻き込んで研究開発を進めていきたいと考えています。